

CEDI-WGの活動報告

2026年5月19日
CEDI-WG

CEDI-WGの活動報告

1. CEDI-WGのミッション
2. CEDI-WG 2025年度の活動報告
 1. 2025年度活動体制・スケジュール
 2. 2025年度活動実績
 3. EDI入門セミナー(2025/7/11開催)
 4. JiEDIA運営委員会
 5. 技術仕様適合認定審査チームの報告
 6. CEDI-WG活動テーマと結果
3. CEDI-WG 2026年度の活動計画

参考資料

1. CEDIから提供可能なEDI仕様文書一覧

1. 石化協EDI標準(Chem eStandardsとJPCA-BP)の維持管理

- ・石化協EDI標準の維持管理(標準を利用している企業からの標準改定要請対応)
- ・EDI環境変化への対応
- ・CEDIから提供可能なEDI仕様文書の管理

2. 標準遵守意識の喚起・向上

- ・CEDI/ITフォーラム 及び EDI入門セミナー の開催

2. CEDI-WG 2025年度の活動報告

1. 2025年度活動体制・スケジュール

(敬称略)

委員長：井深 浩（三菱ケミカル(株) デジタル統括本部 デジタル企画部 部長）

主 査：同上(兼務)

外部の関係団体

CEDI-WG：河川貴広（三菱ケミカル）

石化協標準の維持管理
標準遵守意識の喚起・向上（フォーラム、セミナー）

OAGi (Open Applications Group, Inc.)

<https://oagi.org/>

JiEDIA（インターネットEDI普及推進協議会）

<https://www.jisa.or.jp/tabid/2822/Default.aspx>

次世代データ基盤検討-TF：中山雅彦（旭化成）

ウラノス・エコシステム等参考に次世代EDI基盤の調査・
研究・石化協企業への適用可否検討を行う。

サイバーセキュリティWG：後藤教彰（三井化学）

化学は国から「重要インフラ(*)」に指定
サイバーセキュリティ基本法に基づく努力義務

NISC（内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター）

セプターカウンシル（*情報通信、金融、航空、
空港、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道
、物流、化学、クレジット、石油、港湾 の15分野）

2. CEDI-WG 2025年度の活動報告

- 2025年度は、下表のとおり、計7回WGを開催しました。(リアル&オンライン開催)
(6月～5月を1年度として活動しています)

	2025年							2026年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
全体事項	★7/11(金)(前年度扱い) EDI入門セミナー							★12/19(金) 臨時幹事会	5/19★ CEDI/ITフォーラム 5/22(金)★ 情報通信委員会				
C E D I W G	★6/10	★7/8		★9/9			★11/11	★1/13		★3/10		★5/12	

2. CEDI-WG 2025年度の活動報告

2. 2025年度活動実績

- ・以下の通り活動を実施しました。
- ・2023～2025年度にかけてインボイス対応などの大型対応が落ち着いたことから、開催頻度の見直しを実施しました。（毎月→隔月開催）

会議	日付	参加人数	主な活動内容
第1回	2025/6/10	17	CEDI・ITフォーラム開催報告/EDI入門セミナー資料レビュー
第2回	2025/7/8	17	JiEDIA総会の報告/2025年度活動テーマ検討
第3回	2025/9/9	16	技術仕様適合認定審査チームからの報告/EDI入門セミナー結果報告/新技術を利用した事例の調査：アンケート結果
第4回	2025/11/11	14	SSL/TLSパブリック証明書 運用変更対応/AI・簡易EDI 事例紹介(旭化成社/インテック社)/取適法のEDI対応
第5回	2026/1/13	14	技術仕様適合認定審査チームからの報告
第6回	2026/3/10	17	技術仕様適合認定審査チーム報告/CEDI・ITフォーラムについて/EDI入門セミナーについて
第7回	2026/5/12	15	CEDI・ITフォーラム資料レビュー

2. CEDI-WG 2025年度の活動報告

3. EDI入門セミナー(2025年7月11日開催)

2025年7月11日（金）にEDI入門セミナーを開催しました。開催結果について報告いたします。

- ① 開催日時 : 2025年7月11日（金） 15:00 – 17:00
- ② 開催方法 : 化学団体 8 階会議室及びTeamsによるオンライン開催
- ③ 参加人数 : 17社 65名
- ④ 講師 : 三菱ケミカル 河口、レゾナック 浅井さん

参加者組織区分	2025年	2024年	備考
会社数	17	17	
応募者数	65	64	
出席者	65	56	
会員	51	43	
協力会社	3	5	
外部	11	8	当日出席（3）を含む
事務局	5	5	講師を含む
欠席	0	8	

2. CEDI-WG 2025年度の活動報告

■ 前回(2024年)からの改善点

参加者の理解が深まり、より有意義なセミナーとなるように、以下の改善を実施しました。

①開催時間の見直し

内容が濃いため、十分理解いただくことを目的に、休憩時間を含めた構成に変更しました。

90分 → 120分、休憩時間10分、質疑応答10分、予備10分とした。

→ アンケート結果はおおむね良好でした。

②難解な内容の見直し・情報の最新化

システムフロー中心の説明から、**実際の業務フローに近い形に見直し**を実施しました。

PSTNマイグレーション対応による、JPCA-BPの対応回線としてINS回線が対象外となった など、

情報の最新化を実施しました。

③アンケート運用の見直し

参加人数：17社56名に対して13件のアンケート回答は少ないため、見直しを実施しました。

改善前：セミナー開催案内送付時、アンケートフォームのリンクをメール送信

改善後：QRコード読み取りでスマホから回答可能。休憩時間等に記入を促す。

→ その、**結果17社65名に対して、33名からの回答**を得ることができました。

過去10年ほどで最多の回答を受領

■ 過去アンケート回答実績

開催日	参加者/回答数
2024/7/2	56/13
2023/6/27	84/18
2022/6/21	17/4
2021/6/22	17/8
2020/	中止(コロナ禍)
2019/7/16	20/20 ※対面開催
2018/7/24	32/31

2. CEDI-WG 2025年度の活動報告

■ EDI入門セミナー アンケート結果からの示唆

アンケート結果から、EDI入門セミナーは「EDIの全体像・仕組み」を理解する場として、一定の効果があつたことが確認できました。

＜参加者コメントから見えた傾向＞

- ・化学業界におけるEDIの全体像や、石化協EDI（JPCA-BP）の位置づけが理解できた
- ・EDIの歴史や背景を含めた説明により、業務との関係性がイメージしやすかった
- ・若手社員や新任担当者の教育用途として有効と感じた
- ・どのような場合にEDIを導入するのか判断基準を知りたい

アンケート結果を踏まえ、次回のEDI入門セミナーでは、より業務のイメージがしやすくなるよう、以下の点について内容の工夫を行うことを検討しています。

- ・化学業界におけるEDIの特徴や、近年の動向をより分かりやすく整理
- ・EDI導入時の大まかな流れや、「導入を検討する際の考え方」の紹介
- ・受注～請求 など、実務に関係する部分の説明をやや厚めにする

2026年のEDI入門セミナーは、2026/6/26開催予定です。
アンケートコメントも参考に見直しを行い実施したいと考えております。

2. CEDI-WG 2025年度の活動報告

JiEDIAホームページ

<https://www.jisa.or.jp/jiedia/tabid/2822/Default.aspx>

4. JiEDIA運営委員会

JiEDIA（インターネットEDI普及推進協議会）は、各産業界でのサプライチェーンの情報流通をインターネットEDIによって最適化、高度化ならびに効率化する活動を行う協議会です。

石化協（CEDI-WG）は、2019年よりJiEDIAに参加し、PSTNマイグレーション（INS通信終了）など、石化協EDIに影響のあるテーマを中心に情報収集を行ってきました。

PSTNマイグレーション対応は完了しましたが、今後もEDI運用に関わる重要な変更が続くことから、参加を継続しています。

会議	日付	主なトピック
第1回	2025/5/29	2025年度活動内容 ・Web APIのEDI用途に関する標準化について ・耐量子暗号証明書について
総会	2025/7/2	2025年度体制・予算・事業計画の決議
第2回	2025/9/3	TLS証明書の最長有効期限短縮への今後の対応について Web APIのEDI用途における標準化についての状況報告
第3回	2025/12/10	・耐量子計算機暗号証明書の検討状況 ・SSL/TLS証明書有効期限の短縮について ・EDI用途におけるWeb API利用ガイドラインについて
第4回	2026/3/18	・EDI用途におけるWeb API利用ガイドラインの公開 ・SSL/TLS証明書有効期限短縮に伴う影響資料の更新・公開 ・2026年度のJiEDIA活動方針について

4. JiEDIA運営委員会

① 将来の「量子計算機」に備えた証明書の検討

<背景>

将来、量子計算機が実用化されると、一般的な暗号方式が解読される可能性があると考えられています。そのため世界的に、「量子計算機でも安全とされる暗号方式」への移行検討が進められています。JiEDIAでは、EDIで利用している電子証明書について、将来影響を情報収集しています。

<企業への影響>

石化協のEDI連携（JPCA-BP経由の取引）においても、

- ・通信の安全性
- ・相手先との接続互換性

といった観点で、将来的に影響が出る可能性があります。

<対応>

現時点では、

- ・具体的な切替時期は未定
- ・企業側で今すぐ対応が必要な状況ではない

ため、JiEDIAなどの動向を注視していく段階です。

（ご参考）国家サイバー統括室

「政府機関等における耐量子計算機暗号（PQC）への移行について（中間とりまとめ）」の公表について

https://www.cyber.go.jp/pdf/press/20251120_PQC_chukantorimatome.pdf

本中間とりまとめでは、政府機関等における耐量子計算機暗号（PQC）への移行について、原則として、2035年までに行うことを目指すとの記載があります。

4. JiEDIA運営委員会

②SSL/TLS証明書 有効期限短縮による運用インパクト

<背景>

EDIやWebシステムで使われている「**SSL/TLS証明書**」について、**世界的に証明書のルール変更が決定**されています。
今後、**証明書の有効期限が短くなり、更新頻度が大幅に増える**見込みです。

<企業への影響>

- ・更新**回数**の急増（最大で**10倍**規模）
- ・更新**漏れ** = 接続停止（発注不可）
- ・手作業での証明書管理が困難（自動化検討）

<対応>

JiEDIAでは、企業があらかじめ確認すべきポイントを整理し、「**SSL/TLS証明書有効期限短縮に伴うEDIへの影響**」として資料を作成・更新し、公開しました。

CEDI-WGでは、参加各社への情報提供を実施しました。

（ご参考）JiEDIA（インターネットEDI普及推進協議会）
SSL/TLS証明書有効期限短縮に伴うEDIへの影響 2026年1月版

https://www.jisa.or.jp/Portals/0/jiedia/EDI_Impact_from_Shortened_SSLTLS_Certificate_Validity_202601.pdf?2026011501

なぜ変更？

- ・長期間有効 = 危険な状態を長く放置するリスク
- ・不正利用の長期化

誰が決めた？

- ・ブラウザ企業と認証局が参加する国際的な業界団体

移行スケジュール

1.パブリック証明書の有効期限短縮

移行スケジュールは以下となります。

運用開始日	最大有効期間
～ 2026年3月14日	398日（約13ヶ月）
2026年3月15日～	200日
2027年3月15日～	100日
2029年3月15日～	47日

実質的に**毎月**更新！

出典：「SSL/TLS証明書有効期限短縮に伴うEDIへの影響 2026年1月版（インターネットEDI普及推進協議会）」

4. JiEDIA運営委員会

③ EDI用途におけるWeb API利用ガイドラインについて

<背景>

近年、業務システム間の連携では「Web API」を利用するケースが増えています。EDIにおいても、Web API を使った連携が検討される場面がありますが、使い方によっては、**従来のEDI運用と合わず、トラブルや運用負荷が発生**する可能性があります。

<企業への影響>

- ・標準が弱く個別対応が増える（JPCA-BPのような標準がない）
- ・運用負荷が増加（取引先ごとの個別対応）
- ・障害時の影響が大きい（リアルタイム連携）
- ・セキュリティ対応が高度化（APIは外部アクセス）

無秩序なAPI導入により
・運用担当者の負荷増大
・管理コスト増加
が想定される

<対応>

JiEDIAにて**ガイドラインが公開**されました。（Web API利用時の考え方・注意点を整理）システム更新・接続方式検討時の判断材料として活用できます。
※API利用を推奨するものではなく、安定運用の指針です。

（ご参考）JiEDIA（インターネットEDI普及推進協議会）

EDI用途におけるWeb API利用ガイドライン

<https://www.jisa.or.jp/LinkClick.aspx?fileticket=0L6wgqyKJP8%3d&tabid=2822&forcedownload=true>

5. 技術仕様適合認定審査チームの報告

CEDI-WG 内に設置された、「技術仕様適合認定審査チーム」では、**石化協EDIに関する認定制度**の維持運用を担当しています。

主にテクニカルの観点から、石化協EDIの品質と安全性を担保する活動です。

■ メンバー：

(株)データ・アプリケーション	中井	(株)インテック	吉澤
(株)オージス総研	小野	住友化学(株)	前田※~2026/02まで

■ ミッション：

CEDIホームページで公開している**技術仕様文書の維持運用**、および**ソリューション認定制度の管理**

■ 2025年度実施内容

- ①通信の安全性に関わる要件の見直し
- ②「TLS証明書最長有効期限短縮」のCEDIへの影響調査
- ③ソリューション認定審査

5. 技術仕様適合認定審査チームの報告

■ ①通信の安全性に関わる要件の見直し

2025年度は、石化協EDIに関する**認定制度**について、**通信の安全性に関わる要件が最新動向と乖離**してきたことを受け、制度ドキュメントの見直しを中心に対応を進めました。

石化協EDIに対応したベンダー製品を「**認定ソリューション**」と呼び、毎年適合審査を行っています。

■ 具体的な対応内容

- ・認定制度における通信セキュリティ関連記載（暗号・証明書）の見直し
- ・認定ソリューション保持ベンダーへの情報共有・周知対応
- ・認定審査

セキュリティの観点から詳細は割愛します。
最新情勢に合わせた更新となります。

■ 今後の進め方と制度適用イメージ

- ・改訂した制度ドキュメントは、2026/3月に公開完了(下部参照)
- ・既存の認定ソリューションへの影響を考慮し、1年間の移行期間を設ける
- ・2026年度は移行期間として運用
- ・2027年度からの新制度適用を目途に準備を進める

(ご参考) CEDI (石油化学工業協会 情報通信委員会 Chemical EDI Initiative)
JPCA方式EDI利用ガイドラインおよび認定制度

https://www.jpca.or.jp/cedi/event/pdf/Corresponding_basic_policy_2026.pdf

活動実績 RESULTS OF ACTIVITIES

- JPCA方式EDI利用ガイドラインおよび認定制度

5. 技術仕様適合認定審査チームの報告

■ ② 「TLS証明書の最長有効期限短縮」のCEDIへの影響

4. JiEDIA運営委員会でも触れた、「**TLS証明書の最長有効期限短縮**」について、技術仕様適合認定審査チームからの報告がありました。

■ 報告事項

石化協EDI (JPCA-BP) / Chem eStandards における通信で利用されるSSL/TLSパブリック証明書 (サーバ証明書) について、有効期間が世界的なルール変更により**段階的に短縮**されます。

- ・2026年3月15日以降 順次有効期間が短縮
- ・2029年3月15日以降 1証明書あたり最長47日

ほぼ毎月更新が必要になる

■ 今後想定される対応の方向性 (検討イメージ)

- ・CEDI-WGメンバー企業における**証明書利用状況の整理**
(パブリック/プライベート、サーバ/クライアント証明書)
- ・業務で利用しているEDI等の仕組みの整理
(JPCA-BP、Chem eStandards、Web-EDI、クラウド、API 等)
- ・JiEDIAをはじめとする関係団体の動向把握
- ・これらを踏まえたうえでの、CEDI-WGとしての方針整理

自動更新が今後主流になると考えられます。今後もJiEDIAなどを利用して情報収集を継続します。

2. CEDI-WG 2025年度の活動報告

5. 技術仕様適合認定審査チームの報告

■ 認定制度への申請状況および、認定状況

2026年5月19日時点では、以下の4社10ソリューションが合格となりました。
2026年6月1日からCEDIサイトに企業名、ソリューション名を公開する予定です。

石化協認定のEDIサービス事業者のサービス一覧

2026年度審査結果

No.	事業者名	ソリューション名	審査結果
CEDI-002	DAL	ACMS Apex	認定 (更新)
CEDI-003	DAL	ACMS B2B	認定 (更新)
CEDI-004	DAL	ACMS Lite Neo	認定 (更新)
CEDI-005	DAL	ACMS/WS	認定 (更新)
CEDI-006	オージス総研	eCubenetサービス	認定 (更新)
CEDI-007	インテック	EDIアウトソーシングサービス	認定 (更新)
CEDI-008	TOKAIコミュニケー ションズ	JFT/Server	認定 (更新)
CEDI-009	TOKAIコミュニケー ションズ	JFT/Lite Net	認定 (更新)
CEDI-010	インテック	EDIプラットフォームサービス	認定 (更新)
CEDI-011	DAL	ACMS Cloud	認定 (新規)

2. CEDI-WG 2025年度の活動報告

6. CEDI-WG活動テーマと結果

2024年度にアンケートを実施し、以下のテーマについて取り組むこととしました。

2024年度：FAX注文のEDI/WEB化率向上

2025年度：**新技術を利用した事例の調査**

2025年7月8日(火)
CEDI-WG第2回資料より

<活動テーマ案>

3. 新体制におけるCEDI-WG活動



<CEDI-WG検討テーマ案>

アンケート内容を踏まえ、以下ピックアップしました。

①FAXのEDI/Web注文化率向上

- ・CEDI-WG活動の目的である、「石化協EDI標準の維持管理」に立ち戻り、JPCA/CeS/WebEDIの普及に向けた障害を調査。改善案を検討する。

2024年度テーマ

②新技術を利用した事例の調査

- ・FAXのAI/OCR/RPA等新技術を利用した自動読み取り、基幹システム等への取り込みによる省力化事例を調査し、活用を検討する。
※中小企業のEDI化推進/FAX削減/FAXによる手作業削減等に活用できる新技術の探索を幅広く調査する。

2025年度テーマ

2. CEDI-WG 2025年度の活動報告

6. CEDI-WG活動テーマと結果

2025年度のCEDI-WGでは、「新技術を利用した事例の調査」を活動テーマとし、FAX注文業務を中心に、実態把握と改善可能性の整理を行いました。

4. 2025年度活動テーマ



2025年7月8日(火)
CEDI-WG第2回資料より

■ 新技術を利用した事例の調査

● 2024年度の取り組み

- ・2024年度は、FAX注文のEDI/Web化率向上に向けた検討を行いました。アンケート調査の結果、Web注文には一定の需要があるものの、現状では利用が落ち着いていることが判明しました。
- ・Web注文には、二重入力や多画面問題といった課題がある一方で、これらの課題を上回る付加価値を提供できれば、さらなる利用促進が期待できることも明らかになりました。加えて、動画によるプロモーション活動が有効であることも確認されました。

● 2025年度の取り組み

2025年度は、依然として削減が難しいFAX注文に着目し、現状の課題を再確認したうえで、新技術の活用による対応策を検討します。

主な検討事項：

AI-OCR、クラウドFAX、SaaS型サービス、および（新技術ではないが）RPAなどを活用し、FAX関連業務の効率化が可能かを検証します。
過去のアンケートで上位に挙げられていた「FAXの削減」も密接なテーマであるため、併せて検討を進めます
FAX業務の効率化に加え、そもそもFAXを使わないニーズが存在するか、また脱FAXに導く方法があるかについても検討します。

2. CEDI-WG 2025年度の活動報告

6. CEDI-WG活動テーマと結果

本活動は、第2回から第4回WGにかけて実施しました。
アンケートによる実態把握と、実際の企業事例を組み合わせ整理を行いました。

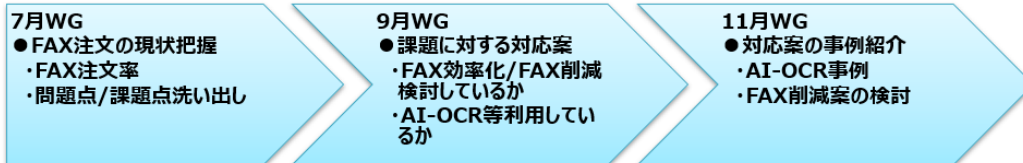
会議	日付	実施内容	主なポイント
第2回	2025/7/8	現状・課題の把握 (アンケート①)	・FAX注文業務の現状と課題の把握
第3回	2025/9/9	課題に対する取り組み (アンケート②)	・FAX注文課題に対する対応状況(従来技術) ・AI-OCR、クラウドFAX、RPA等の活用状況 ・FAX削減・効率化に対する各社の期待
第4回	2025/11/11	具体的事例の紹介 まとめ	・旭化成社、インテック社による事例紹介 ・新技術活用の現実的な位置づけをまとめた

4. 2025年度活動テーマ



■進め方(案)

・以下の通りで考えております。ご意見いただければ幸いです。



2025年7月8日(火)
CEDI-WG第2回資料より

6. CEDI-WG活動テーマと結果

FAX注文業務の実態把握と課題の深掘りを目的として、2回のアンケート調査を実施しました。

■ アンケート①：FAX注文の現状と課題

観点	結果
FAX注文の位置づけ	多くの企業で 依然として一定の業務量を占めている
注文形態	手書き、先方フォーム、PDFなど 様式が多様で統一されていない
主な問題点	手入力による ミスの発生 。 FAXのメリットが大きい (気づく/手書き可/低コスト)
主な課題点	OCRの精度が低く 、結局人が介在する。 取引先都合 もあり自社だけでは困難

■ アンケート②：FAX注文の課題に対する取り組み

観点	結果
取り組み状況	AI-OCR/RPA/クラウドFAX等は 限定的に活用
AI-OCRの評価	有効な場面はあるが、 精度・人手確認が課題として残る
効果の出方	「FAX削減」より 業務負荷軽減で効果が出やすい
WGへの期待	他社事例の共有、具体的な対応例 への要望が多い

6. CEDI-WG活動テーマと結果

第4回WGでは、アンケート結果を踏まえ、旭化成社およびインテック社より、FAX注文業務におけるAI・簡易EDI活用の事例紹介がありました。

■ 旭化成社 AI-OCR事例

- ・商社からの注文FAX文字(自社フォーム)を AIで読み取り、基幹システムに取り込み
- ・業務効率化・ミス低減を実現
- ・一方で、手書き読み取り精度・取引先様式への対応など 運用上の工夫が必要

■ インテック社 簡易EDI事例

- ・中小・EDI未導入取引先向けに 簡易Web-EDIを提供
- ・注文ファイルをWebアップロードするだけのお手軽運用
- ・取引先の負荷を抑えつつ、FAX代替の現実的な選択肢

■ 本活動を通じた最終的な整理

これらを踏まえ、CEDI-WGとして以下の点を整理しました。

- ・FAX業務は、依然として主要な発注手段。短期的に自動化前提では考えない
- ・新技術は「魔法の解決策」ではなく、既存業務を補完する現実的な選択肢として捉える
- ・各社の業務特性に応じた、部分導入・段階的対応が現実解
- ・取引先との合意形成や業務設計が、技術以上に重要
- ・Web-EDI未導入領域への導入は、引き続き中長期的な検討テーマとする

AI技術は進化しているが、現時点では完全自動化には至りません。
今後は基幹システム標準機能としての活用も重要と考えます。

3. CEDI-WG 2026年度の活動計画

1. 石化協EDI標準(Chem eStandardsとJPCA-BP)の維持管理
石化協EDI標準の維持管理(標準を利用している企業からの標準改定要請対応)
 - ①EDIサービス事業者の提供サービスの認定
→各社からの申請内容の確認と認定
 - ②JiEDIAへの参加
→情報収集と必要情報のメンバー各社への共有**CEDI-WGにて提供しているEDI仕様文書の維持・管理**
 - ・必要に応じて適宜実施

2. 標準遵守意識の喚起・向上
 - ・EDI入門セミナーの開催（2027年6～7月頃予定）及び、
CEDI/ITフォーラムの開催（2027年5月頃予定）

3. 次世代データ基盤の情報収集
 - ・次世代データ基盤検討タスクフォースの活動報告、活動終了を受け、
情報収集を継続

・CEDI-WG 技術仕様適合認定審査チーム報告資料 より（2025/9/9）

CEDI-WG 技術仕様適合認定審査チームからの報告



■ 作業実施に係る報告と作業承認のお願い

■ 実施内容

1. 【石化協認定制度（正式名称：石化協版「全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）」
利用ガイドライン SSL/TLS 方式 技術仕様適合認定制度）】（以下、認定制度）に記載されている申請項目
「脆弱性対応（暗号スイート）」に関する以下3事項
 - ・ 記載内容改訂
 - ・ 認定ソリューション保持ベンダーへの周知
 - ・ 石化協としての改訂版認定項目の適用（公開など）に向けた作業

■ 背景

認定制度は、2025年度以降もその制度を継続させることが、2024年度 CEDI-WG において決定しているが、申請項目の1つである「脆弱性対応（暗号スイート）」の内容が古く（現在は2018年当時情報を記載）、世の中の最新状況と乖離が生じており、これを最新情報へと変更させる必要があると考えたことによる
※現在の認定制度用申請書類は2022年1月31日付で改訂（第1.2版）されているものの当該暗号スイートに係る記載は、初版の記載内容のままとなっている

・CEDiから提供可能なEDI仕様文書一覧

EDI標準	分類	文書形式	文書名	版
JPCA	BP	PDF	石油化学工業協会ビジネスプロトコル標準書	4.1.0
	資料	PDF	テクニカルレポート一覧	-
CeS	BP	Word Excel	Usage Guidelines～日本におけるChem eStandards 利用指針～	2.1.0
	BP	Excel	物流版 Usage Guidelines	1.0
	資料	Word	Chem eStandards™ V4 のメッセージ概要説明	1.0
	システム	Word Excel	CEDI システム導入ガイド	1.3
	システム	Word	Web-EDI 開発ガイドライン	1.1
(JPCA-BP) インターネットEDI移行		PDF	インターネットEDI移行の手引き、利用ガイドラインSSL/TLS方式編	1.2.0
(CeS,JPCA-BP) 適格請求書等保存方式対応		PDF	消費税率改定及び適格請求書等保存方式によるCeS及びJPCA-BPの改訂点	-

ご清聴ありがとうございました

ご質問等ありましたら、以下までご連絡下さい

参考URL

石化協（CEDI関連資料）

<https://www.jpca.or.jp/cedi/>

お問い合わせは、
CEDI-WG（石化協内）
TEL：03-3297-2011